

機械器具 58 整形用器具器械  
一般医療機器 骨接合用又は骨手術用機械器具

## パーフォレーターハンドピース PD-PER

## 【禁忌・禁止】

- ① 使用後は必ずすぐに、洗浄、注油、滅菌を行うこと。  
[血液等の内部凝固のおそれ]
- ② 回転中は、着脱レバーは引かないこと。  
[パーフォレーター先が外れることによるけがのおそれ]

## 【形状・構造等】



## 【使用目的】

頭蓋骨の穿孔術。

## 【品目仕様等】

許容最高回転速度……………1,200min<sup>-1</sup>

使用チャック……………ハドソンチャック

## 【操作方法又は使用方法等】

詳細については取扱説明書を参照すること。

- ① 本品をモーターハンドピースに接続する。
- ② 着脱レバーを引きながら、パーフォレーター先（ハドソンチャック）を差し込み、着脱レバーを戻してパーフォレーター先を固定する。
- ③ モーターハンドピースを回転させ使用を開始する。

## 【使用上の注意】

- ① 本品は獣医家向け製品であり、手技に精通した獣医師以外は使用しないこと。使用前に使用方法等を熟知してから使用を開始すること。
- ② 患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払うこと。
- ③ 落下させるなど強い衝撃は与えないこと。
- ④ 分解、改造を行わないこと。
- ⑤ ハドソンフィット元のパーフォレーター先を使用すること。
- ⑥ パーフォレーター先を装着していない状態では作動させないこと。
- ⑦ 超音波洗浄装置、ウォッシャー・ステリライザーにて洗浄しないこと。
- ⑧ リューザブルタイプのパーフォレーター先を使用する場合は、使用後に分解して清掃を行い（製品の規定に従って）、完全に血液、骨片等異物が除去されたことを確認してから使用すること。
- ⑨ パーフォレーター先を取り付けたとき、必ずパーフォレーター先を軽く引いて確実に装着されていることを確認すること。
- ⑩ 使用中は着脱レバーを絶対に引かないこと。
- ⑪ 本品がモーターハンドピースにしっかりと固定されているか確認してから作動すること。
- ⑫ パーフォレーター先が確実に装着されたのを確認してから作動すること。

- ⑬ パーフォレーター先の交換や本品を取り外す際は、モーターハンドピースの回転が完全に停止してから行うこと。
- ⑭ 作動中に本品をモーターハンドピースから着脱させないこと。
- ⑮ 術前に回転させて、発熱、振れ等の異常が無いを確認すること。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

## 1) 貯蔵・保管方法

- ① 水のかからない場所に保管すること。
- ② 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分等を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ③ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

## 2) 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検（消耗部品の交換）を行った場合に限り5年間とする。

## 【保守・点検に係わる事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

アタッチメントは、オートクレーブ滅菌が可能である。

また、以下の手順により、清掃、注油、滅菌を行うこと。

- ① アタッチメント内部に付着した骨片や血液を除去するために、手術後直ちにEZスプレー（別売品）で十分に洗浄・注油を行うこと。  
この手順が省略されると、製品本来の機能が阻害される恐れ（音、振動、熱、等）があり、かつ製品の寿命にも影響することがある。
- ② アタッチメント表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取る。
- ③ 滅菌ケース、滅菌トレーに入れる。
- ④ 135℃までのオートクレーブ滅菌を行う。
- ⑤ しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に装置が正常かつ安全に作動することを確認すること。

## 【包装】

本品が1箱に1本入る。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は住所等】

株式会社 ナカニシ

住 所：〒322-8666

栃木県鹿沼市下日向700

TEL：0289-64-3380

FAX：0289-64-3890